

第9回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

—歴史的鋼構造物の保存と活用—

Proceedings of The 9th Symposium on Steel Structures and Bridges

日時：2006年8月4日

会場：早稲田大学（東京）

社団法人 土木学会
鋼構造委員会

後援 日本鉄鋼連盟
日本橋梁建設協会
鋼橋技術研究会



B 1 1 0 7 9 5 5 B
土 木 図 書 館

第9回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

—歴史的鋼構造物の保存と活用—

Proceedings of The 9th Symposium on Steel Structures and Bridges

登録 番号	平成19年3月14日
	第 55132 号
社団法人 土木学会	
附属 土木図書館	

日時：2006年8月4日

会場：早稲田大学（東京）

社団法人 土木学会

鋼構造委員会

後援 日本鉄鋼連盟
日本橋梁建設協会
鋼橋技術研究会

第9回 鋼構造と橋に関するシンポジウム

序文

土木学会鋼構造委員会は、土木分野の鋼構造を対象として、その学術および技術の発展のために、材料を含め、構造部材や構造システムの設計、施工全般にわたる調査研究活動を行っています。併せて、歴史的建造物の資料の編纂や鋼建造物と関係の深い合成構造、混合構造などのハイブリッド構造や木構造の技術的発展を念頭においた研究活動も行っています。

これらの委員会活動の成果は土木学会鋼構造シリーズとして出版委員会を通して刊行してきましたが、これ以外にも、シンポジウムや講習会を開催して、各小委員会の活動成果を、土木学会会員の皆様へ還元することを積極的に行っております。さらに、これらの成果を利用した継続教育にも積極的に取り組みたいと考えております。また、土木学会技術者資格制度が2001年度に発足しましたが、その更新には継続教育を受けることが求められています。

このような趣旨に添って、当委員会では、1998年より委員会の活動紹介とともに、活動成果の委員への還元と最新情報の発信、併せて研究者・技術者の交流を目的として、鋼構造と橋に関するシンポジウムを企画し、同時に論文報告集の発刊を行っています。

これまでのシンポジウムでは以下のサブテーマを掲げ実施してきました。

- 第1回 『鋼橋の経済性と長寿命化を目指して』
- 第2回 『鋼橋の最新技術動向』
- 第3回 『環境に配慮した鋼建造物』
- 第4回 『合理化橋梁の最近の動向』
- 第5回 『鋼構造の技術基準類改訂の動向』
- 第6回 『鋼構造と橋の耐久性』
- 第7回 『鋼・合成構造における技術開発』
- 第8回 『海外における鋼構造と橋、実例と動向について』

何れのシンポジウムでも鋼構造と橋に関わる興味深いトピックスを、それぞれの分野における識者に解説していただく形をとりました。

今回は第9回として『歴史的鋼建造物の保存と活用』をサブテーマに取り上げ、関係各位に歴史的鋼建造物の動向を中心に情報の提供をお願いしました。今回の講演は地域の文化をささえている歴史的鋼建造物の保存技術と活用方法を対象としており、鋼構造技術者にとって関心の高い内容と考えます。このような企画が鋼構造ならびに橋梁構造のさらなる発展に資することを期待しています。

おわりに、本シンポジウムの開催にあたって、研究助成を賜りました日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会の関係各位に心からのお礼を申し上げます。

2006年8月4日
土木学会鋼構造委員会
委員長 依田照彦

第9回鋼構造と橋に関するシンポジウム

実行委員会

委員長	依田 照彦	(早稲田大学)
委員	市川 篤司	((財)鉄道総合技術研究所)
	大島 靖樹	((財)電力中央研究所)
	小野 潔	(大阪大学)
	小西 拓洋	(住友重機械工業(株))
	佐々木 保隆	((株)横河ブリッジ)
	野澤 伸一郎	(東日本旅客鉄道(株))
	本間 宏二	(新日本製鐵(株))
	向山 辰夫	(パシフィックコンサルタンツ(株))
	村越 潤	((独)土木研究所)
	森 猛	(法政大学)
	山口 栄輝	(九州工業大学)

第9回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

2006.8

土木学会

目次

1 歴史的鋼橋の補修・補強に関する調査	五十畑 弘, 堀井滋則, 神田恭太郎	1
2 鋼橋移設, 既存ストックの有効活用	梶川康男	15
3 現存する国内最古の鋼道路桁橋「明治橋」	日野伸一, 山口浩平	29
4 ピン結合トラス橋りょうの保守管理	森島啓行, 赤井 司, 三宅浩一郎	43
5 双葉跳開橋・勝鬨橋の現状と今後	高木千太郎	55

PROCEEDINGS OF THE 9TH SYMPOSIUM ON
STEEL STRUCTURES AND BRIDGES

2006.8

Japan Society of Civil Engineers

CONTENTS

1	RESEARCH ON REPAIR AND STRENGTHENING OF HISTORIC STEEL/IRON BRIDGES Hiroshi ISOHATA, Shigenori HORII and Kyotaro KANDA	1
2	EFFECTIVE USE OF STEEL BRIDGES AND STOCKS IN EXISTENCE Yasuo KAJIKAWA	15
3	THE OLDEST EXISTING STEEL I-GIRDER HIGHWAY BRIDGE IN JAPAN "MEIJI BASHI" Shinichi HINO and Kohei YAMAGUCHI	29
4	MAINTENANCE OF PIN CONNECTED TRUSS BRIDGES Hiroyuki MORISHIMA, Tsukasa AKAI and Koichiro MIYAKE	43
5	THE PRESENT CONDITIONS AND THE FUTURE OF KACHIDOKI-BASHI (BASCULE BRIDGE) Sentaro TAKAGI	55